

HGM 2001-A

DEC 12 2003

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

Applicant: Miura Group Art Unit: 3617  
Serial Number: 10/660,106 Examiner: Unknown  
Filed: 11 September 2003 Confirmation No.: 6859  
Title: LEVER-SUPPORT BRACKET STRUCTURE OF SMALL WATERCRAFT

**TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT**

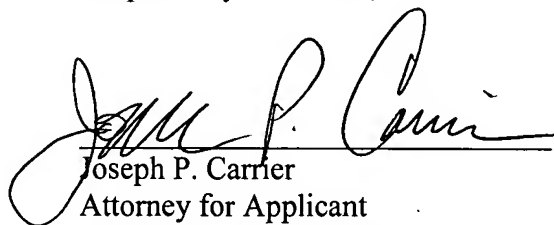
Commissioner For Patents  
PO Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

In connection with the identified application, applicant encloses for filing a certified copy of: Japanese Patent Application No. 2002-264989, filed 11 September 2002, to support applicant's claim for Convention priority under 35 USC §119.

Respectfully submitted,

Customer Number 21828  
Carrier, Blackman & Associates, P.C.  
24101 Novi Road, Suite 100  
Novi, Michigan 48375  
10 December 2003

  
Joseph P. Carrier  
Attorney for Applicant  
Registration No. 31,748  
(248) 344-4422

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the U.S. Postal Service as first class mail in an envelope addressed to Mail Stop Missing Parts, Commissioner For Patents, PO Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450 on 10 December 2003.

Dated: 10 December 2003  
JPC/km  
enclosures

  
Kathryn MacKenzie



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日            2 0 0 2 年   9 月 1 1 日  
Date of Application:

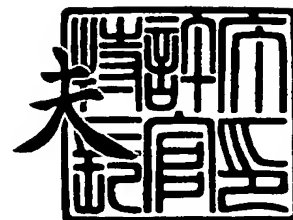
出 願 番 号            特 願 2 0 0 2 - 2 6 4 9 8 9  
Application Number:  
[ST. 10/C] :            [ J P 2 0 0 2 - 2 6 4 9 8 9 ]

出   願   人            本 田 技 研 工 業 株 式 会 社  
Applicant(s):

2 0 0 3 年   8 月 1 8 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康



出証番号   出証特 2 0 0 3 - 3 0 6 6 8 9 7



【書類名】 特許願

【整理番号】 H102250701

【提出日】 平成14年 9月11日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 B63B 35/73

【発明者】

【住所又は居所】 埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内

【氏名】 三浦 孝吉

【特許出願人】

【識別番号】 000005326

【氏名又は名称】 本田技研工業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100067356

【弁理士】

【氏名又は名称】 下田 容一郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100094020

【弁理士】

【氏名又は名称】 田宮 寛祉

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 004466

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9723773

【包括委任状番号】 0011844



【プルーフの要否】 要



【書類名】 明細書

【発明の名称】 小型水上艇のレバー支持ブラケット構造

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 デッキ上にシートを載せ、デッキ下方にエンジンを配置し、このエンジンの後方にジェット推進機を配置し、このジェット推進機の後方にジェット水の噴射方向を定めるステアリングノズルを配置し、このステアリングノズルの後方にジェット水を前方に案内するリバースバケットを配意し、このリバースバケットを操作レバーにより操作できるようにした小型水上艇において、

前記操作レバーを前記シートの前端付近に配置するとともに、レバー支持ブラケットによりデッキに揺動可能に取り付け、

このレバー支持ブラケットに前記シートの前端の舌片部を差し込むことのできる舌片差込み部を一体形成したことを特徴とする小型水上艇のレバー支持ブラケット構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、シートの前端を支えることができ、さらにリバースバケットの操作レバーを支えることができる小型水上艇のレバー支持ブラケット構造に関する。

【0002】

【従来の技術】

海面や湖面を滑走する小型艇として小型水上艇が知られている。（例えば、特許文献 1 参照。）。

【0003】

【特許文献 1】

特開平 9-281132 号公報（第 2 頁、図 1）

【0004】

以上の特許文献 1 に示す小型水上艇の一例を以下に説明する。

この小型水上艇は、艇体内にエンジンとエンジンで駆動するジェット推進機とを備え、ジェット推進機の後端にステアリングノズルを備える。小型水上艇によ



れば、エンジンでジェット推進機を駆動することにより、ウォータジェット推進機のインペラを回転し、インペラの回転で艇底の吸込口から水を吸い込む。

この吸い込んだ水をステアリングノズルの後端から後方に向けてジェット水として噴射することにより、ジェット水の噴射力で小型水上艇を滑走させることができる。

#### 【0005】

小型水上艇は、艇体を後進させるためにリバースバケットを備えている。リバースバケットをステアリングノズルの後方に移動することで、ステアリングノズルから噴射したジェット水をリバースバケットで前方に案内することができる。これにより、ジェット水を艇体の前方に向けて噴射させることができ、艇体を後進させることができる。

#### 【0006】

このリバースバケットにはリバース操作ケーブルを介して操作レバーを連結し、操作レバーをシートの前端近傍にレバー支持ブラケットで揺動可能に取り付けている。

操作レバーをシートの前端近傍に取り付けることで、操縦者は操作レバーを自然な姿勢で操作することができる。

#### 【0007】

一方、操作レバーの後方に設けたシートは、前端に舌片部を備え、かつ後端にロック手段を備える。舌片を艇体の舌片差込み部に差し込むとともに、ロック手段を艇体に係止することでシートを艇体に取り付けることができる。

#### 【0008】

ここで、操作レバーをリバースバケットを操作するレバーであり、操作レバーを支えるレバー支持ブラケットには比較的大きな操作力がかかる。このため、レバー支持ブラケットの剛性のある程度高く設定する必要がある。

また、シートを艇体に強固に固定するためには、シート前端の舌片部を差し込む舌片差込み部の剛性のある程度高く設定する必要がある。

#### 【0009】

【発明が解決しようとする課題】



しかし、レバー支持ブラケットや舌片差込み部の剛性を高めるためには、それぞれの部材が大型になってしまう。さらに、レバー支持ブラケットと舌片差込み部とを隣接位置に取り付ける必要があるので、レバー支持ブラケットと舌片差込み部とを配置するスペースを確保することは難しい。

#### 【0 0 1 0】

このため、レバー支持ブラケットと舌片差込み部とを配置するスペースを確保するために、艇体内に配置する部材のレイアウトを決める際に、制約が多くなり設計の自由度を高めにくい。

加えて、レバー支持ブラケットと舌片差込み部との二部材を必要とするため、部品点数が多くなり、そのことがコスト低減を図る妨げになる。

#### 【0 0 1 1】

そこで、本発明の目的は、レバー支持ブラケット及び舌片差込み部の剛性を高めることができ、またレバー支持ブラケット及び舌片差込み部のレイアウトを比較的簡単に決めることができ、さらに部品点数を減らすことができる小型水上艇のレバー支持ブラケット構造を提供することにある。

#### 【0 0 1 2】

##### 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために請求項 1 は、デッキ上にシートを載せ、デッキ下方にエンジンを配置し、このエンジンの後方にジェット推進機を配置し、このジェット推進機の後方にジェット水の噴射方向を定めるステアリングノズルを配置し、このステアリングノズルの後方にジェット水を前方に案内するリバースバケットを配意し、このリバースバケットを操作レバーにより操作できるようにした小型水上艇において、前記操作レバーを前記シートの前端付近に配置するとともに、レバー支持ブラケットによりデッキに揺動可能に取り付け、このレバー支持ブラケットに前記シートの前端の舌片部を差し込むことのできる舌片差込み部を一体形成したことを特徴とする。

#### 【0 0 1 3】

操作レバーを取り付けるレバー支持ブラケットに舌片差込み部を一体形成した。よって、レバー支持ブラケットに、操作レバーを取り付けることができるとと



もに、シートの前端の舌片部を差し込むことができる。

このように、操作レバーを取り付ける部材と、舌片部を差し込む部材とをレバー支持ブラケットの一部材にまとめることで、レバー支持ブラケットの剛性を高めることができる。

#### 【 0 0 1 4 】

また、操作レバーを取り付ける部材と、舌片部を差し込む部材とをレバー支持ブラケットの一部材にまとめることで、部材のコンパクト化を図ることができる。よって、レバー支持ブラケットのレイアウトを比較的簡単に決めることができる。

加えて、操作レバーを取り付ける部材と、舌片部を差し込む部材とをレバー支持ブラケットの一部材にまとめることで、部品点数を減らすことができる。

#### 【 0 0 1 5 】

##### 【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を添付図に基づいて以下に説明する。ここで、「前」、「後」、「左」、「右」は運転者から見た方向に従う。なお、図面は符号の向きに見るものとする。

図 1 は本発明に係るレバー支持ブラケット構造を備えた小型水上艇を示す側面図である。

小型水上艇 1 0 は、艇体 1 1 の前部 1 2 に燃料タンク 1 3 を設け、この燃料タンク 1 3 の後方にエンジン 1 4 を設け、このエンジン 1 4 の後方の艇尾 1 5 にジェット推進機室 1 6 を設け、このジェット推進機室 1 6 にウォータジェット推進機（ジェット推進機） 1 7 を設け、このウォータジェット推進機 1 7 の後方にステアリングノズル 1 8 を設け、ステアリングノズル 1 8 を左右にスイングする操舵ハンドル 1 9 を燃料タンク 1 3 の上方に設け、ステアリングノズル 1 8 の後方にリバースバケット 2 1 を設け、このリバースバケット 2 1 を上下にスイングするリバース操作レバー（操作レバー） 3 4 を操舵ハンドル 1 9 後方に設け、このリバース操作レバー 3 4 の後方に前後に延びるシート 2 3 を設けたものである。

#### 【 0 0 1 6 】

ウォータジェット推進機 1 7 は、艇体 1 1 の艇底 2 4 に吸込口 2 5 を形成し、



この吸込口 2 5 をウォータージェット推進機室 1 6 まで延ばし、ジェット推進機室 1 6 の壁部 2 6 に円筒状のステータ 2 7 を設け、このステータ 2 7 内にインペラ 2 8 を回転自在に配置し、このインペラ 2 8 のシャフト 2 9 に駆動シャフト 1 4 a を連結したものである。

#### 【 0 0 1 7 】

小型水上艇 1 0 によれば、エンジン 1 4 で駆動シャフト 1 4 a を回転することによりインペラ 2 8 を回転することができる。インペラ 2 8 が回転することにより、吸込口 2 5 から水を吸い込んで、ステータ 2 7 内に導くことができる。

導いた水をステータ 2 7 の後端から水ジェットとして後方に向けて噴射することにより、小型水上艇 1 0 を滑走させることができる。

#### 【 0 0 1 8 】

図 2 は本発明に係るレバー支持ブラケット構造を備えた小型水上艇を示す分解側面図である。

艇体 1 1 の操舵ハンドル 1 9 近傍に、レバー支持ブラケット構造 3 0 を構成するレバー支持ブラケット 3 1 をボルト 3 2 …で取り付け、このレバー支持ブラケット 3 1 に取付けボルト 3 3 でリバース操作レバー 3 4 を揺動自在に取り付ける。

リバース操作レバー 3 4 にはジョイント 3 5 を介して操作ケーブル 3 6 の前端 3 6 a を連結し、後端 3 6 b をスイングレバー 3 7 に連結する。

#### 【 0 0 1 9 】

スイングレバー 3 7 を支持プレート 3 8 に支軸 3 9 で揺動自在に取り付ける。また、支持プレート 3 8 にリバースバケット 2 1 を支軸 4 1 で揺動自在に取り付ける。さらに、リバースバケット 2 1 の前端突起 4 2 をスイングレバー 3 7 の摺動溝 4 3 に摺動ボルト 4 4 で連結する。

#### 【 0 0 2 0 】

リバース操作レバー 3 4 のグリップ部 4 5 を操縦者が握って、リバース操作レバー 3 4 を上方に引き上げることにより、操作ケーブル 3 6 でスイングレバー 3 7 を支軸 3 9 を軸に矢印方向に揺動させる。

スイングレバー 3 7 が揺動することにより、リバースバケット 2 1 が支軸 4 1



を軸に矢印の方向に揺動する。これにより、リバースバケット 2 1 をステアリングノズル 1 8 後方の後進位置に配置することができる。

リバースバケット 2 1 を後進位置に配置することで、ステアリングノズル 1 8 から噴射したジェット水を前方に案内することができる。これにより、小型水上艇 1 0 を後進させることができる。

#### 【 0 0 2 1 】

一方、シート 2 3 は、前端 5 0 に舌片部 5 1 を備え、かつ後端 5 2 にロック部 5 3 を備える。舌片部 5 1 を、レバー支持ブラケット構造 3 0 の舌片差込み部 5 5 (図 3 も参照) に矢印の如く差し込むとともに、ロック部 5 3 を艇体 1 1 の被ロック部 5 7 に係止することでシート 2 3 を艇体 1 1 に取り付けることができる。

なお、舌片差込み部 5 5 はレバー支持ブラケット 3 1 に一体形成したものである。

#### 【 0 0 2 2 】

図 3 は本発明に係る小型水上艇のレバー支持ブラケット構造を示す斜視図である。

小型水上艇 1 0 のレバー支持ブラケット構造 3 0 は、リバース操作レバー 3 4 をシート 2 3 の前端付近に配置するとともに (図 1 参照)、リバース操作レバー 3 4 をレバー支持ブラケット 3 1 で艇体 1 1 (デッキ) に揺動可能に取り付け、このレバー支持ブラケット 3 1 にシート 2 1 の前端 5 0 の舌片部 5 1 を差し込むことのできる舌片差込み部 5 5 を一体形成したものである。

#### 【 0 0 2 3 】

レバー支持ブラケット 3 1 は、ベース部 6 0 と、このベース部 6 0 から上方に立ち上げた鉛直支持部 6 1 とを備え、一例として樹脂で一体成型した部材である。

ベース部 6 0 は、前後端にそれぞれ前後の脚部 6 2, 6 3 を備え、前脚部 6 2 の左右端にそれぞれ左右の前取付孔 6 4, 6 4 (右側の取付孔は図示しない) を形成するとともに、後脚部 6 3 の左右端にそれぞれ左右の後取付孔 6 5, 6 5 を形成したものである。



**【 0 0 2 4 】**

左右の前取付孔 6 4, 6 4 及び左右の後取付孔 6 5, 6 5 にボルト 6 6 … を差し込み、差し込んだボルト 6 6 … を艇体 1 1 にねじ込むことにより、レバー支持ブラケット 3 1 を艇体 1 1 に取り付けることができる。

**【 0 0 2 5 】**

このように、ベース部 6 0 をボルト 6 6 … で艇体 1 1 に取り付けることにより、ベース部 6 0 と艇体 1 1 とで舌片差込み部 5 5 を形成することができる。

すなわち、舌片差込み部 5 5 は、ベース部 6 0 の後脚部 6 3 の左右の内面でそれぞれ左右の内壁 6 7, 6 8 を形成し、後脚部 6 3 の上面で天井面 6 9 を形成し、艇体 1 1 のうちの天井面 6 9 に対向する部位で床面 7 0 を形成することで、左右の内面 6 7, 6 8、天井面 6 9 及び床面 7 0 で舌片部 5 1 を受け入れる受部を形成するとともに、舌片部 5 1 を差し込む開口部 5 6 を形成したものである。

この舌片差込み部 5 5 によれば、シート 2 3 前端 5 0 の舌片部 5 1 を開口部 5 6 から舌片差込み部 5 5 内に矢印の如く差し込むことができる。

**【 0 0 2 6 】**

鉛直支持部 6 1 は、ベース部 6 0 の前脚部 6 2 から後脚部 6 3 に亘って前後方向に延ばした部材で、後端 7 2 に取付けボルト 3 3 でリバース操作レバー 3 4 の後端 3 4 a を回転自在に取り付け、前端 7 3 に取り付けたスライドロッド 7 4 をリバース操作レバー 3 4 のスライド溝 7 5 にスライド自在に差し込ませたものである。

**【 0 0 2 7 】**

リバース操作レバー 3 4 は、略く字形に形成した部材であり、後端 3 4 a の円板部を取付けボルト 3 3 で鉛直支持部 6 1 の後端 7 2 に回転自在に取り付け、前部 3 4 b に湾曲状のスライド溝 7 5 を形成し、このスライド溝 7 5 にスライドロッド 7 4 をスライド自在に配置し、上端 3 4 c にグリップ 4 5 を備える。

さらに、リバース操作レバー 3 4 は、中央部 3 4 d にボルト 7 6 でジョイント 3 5 を取り付け、ジョイント 3 5 に操作ケーブル 3 6 を連結したものである。

**【 0 0 2 8 】**

グリップ 4 5 を掴んで上方に引き上げることにより、リバース操作レバー 3 4



を取付けボルト 3 3 を軸にして上方に揺動させる。このとき、スライド溝 7 5 がスライドロッド 7 4 に沿って移動する。

このように、リバース操作レバー 3 4 を取付けボルト 3 3 を軸にして上方に揺動させることにより、ボルト 7 6 及びジョイント 3 5 が上方に移動して、操作ケーブル 3 6 を上方に引き上げることができる。

#### 【 0 0 2 9 】

小型水上艇 1 0 のレバー支持ブラケット構造 3 0 によれば、リバース操作レバー 3 4 を取り付けるレバー支持ブラケット 3 1 に舌片差込み部 5 5 を一体形成することで、レバー支持ブラケット 3 1 に、リバース操作レバー 3 4 を取り付けることができるとともに、シート 2 3 の前端 5 0 の舌片部 5 1 を差し込むことができる。

リバース操作レバー 3 4 を取り付ける部材と、舌片部 5 1 を差し込む部材とをレバー支持ブラケット 3 1 の一部材にまとめることで、レバー支持ブラケット 3 1 の剛性を高めることができる。

#### 【 0 0 3 0 】

また、リバース操作レバー 3 4 を取り付ける部材と、舌片部 5 1 を差し込む部材とをレバー支持ブラケット 3 1 の一部材にまとめることで、部材のコンパクトを図ることができる。よって、レバー支持ブラケット 3 1 のレイアウトを比較的簡単に決めることができるので、設計の自由度を高めることができる。

加えて、リバース操作レバー 3 4 を取り付ける部材と、舌片部 5 1 を差し込む部材とをレバー支持ブラケット 3 1 の一部材にまとめることで、部品点数を減らすことができ、コスト低減を図ることができる。

#### 【 0 0 3 1 】

図 4 は本発明に係る小型水上艇のレバー支持ブラケット構造を示す側面図である。

レバー支持ブラケット構造 3 0 のレバー支持ブラケット 3 1 をボルト 6 6 …で艇体 1 1 に取り付け、鉛直支持部 6 1 の後端 7 2 にリバース操作レバー 3 4 の後端 3 4 a を取付けボルト 3 3 で回転自在に取り付け、リバース操作レバー 3 4 のスライド溝 5 にスライドロッド 7 4 をスライド自在に差し込ませ、リバース操



作レバー 3 4 の中央部 3 4 c にボルト 7 6 でジョイント 3 5 を取り付け、ジョイント 3 5 に操作ケーブル 3 6 を連結し、舌片差込み部 5 5 にシート 2 3 前端 5 0 の舌片部 5 1 を差し込む。

#### 【0 0 3 2】

これにより、レバー支持ブラケット 3 1 にリバース操作レバー 3 4 を揺動自在に取り付けることがき、かつレバー支持ブラケット 3 1 の舌片差込み部 5 5 にシート 2 3 の前端 5 0 の舌片部 5 1 を差し込むことができる。

なお、7 9 は固定ブラケットであり、固定ブラケット 7 9 で操作ケーブルを保持することができる。

#### 【0 0 3 3】

図 5 は本発明に係るレバー支持ブラケット構造の舌片差込み部と舌片部との関係を示す側面図である。

レバー支持ブラケット 3 1 の舌片差込み部 5 5 は、左内壁 6 7 から右内壁 6 8 までの幅が開口部 5 6 で  $W 1$ 、前端部 7 8 で  $W 2$  となるように開口部 5 6 から前端部 7 8 に向けて漸次幅狭になるようにテーパ状に形成するとともに、床面 7 0 から天井面 6 9 までの高さが  $H 1$  となるように形成したものである。

#### 【0 0 3 4】

一方、シート 2 3 前端 5 0（図 3 参照）の舌片部 5 1 は、略台形状に形成した部材であり、左側壁 8 0 から右側壁 8 1 までの幅が基端部 8 2 で  $W 3$ 、先端部 8 3 で  $W 4$  となるように基端部 8 2 から先端部 8 3 に向けて漸次幅狭になるようにテーパ状に形成するとともに、下面 8 4 から上面 8 5 までの高さが  $H 2$  となるように形成したものである。

#### 【0 0 3 5】

開口部 5 6 の幅  $W 1$  を基端部 8 2 の幅  $W 3$  より僅かに大きく形成し、前端部 7 8 の幅  $W 2$  を先端部 8 3 の幅  $W 4$  より僅かに大きく形成した。また、床面 7 0 から天井面 6 9 までの高さ  $H 1$  を下面 8 4 から上面 8 5 までの高さ  $H 2$  より僅かに大きく形成した。

これにより、舌片差込み部 5 5 に舌片部 5 1 を差し込んだ際に、舌片差込み部 5 5 で舌片部 5 1 を確実に保持することができるので、図 1 に示すようにシート



2 3 を艇体 1 1 に好適に取り付けることができる。

#### 【 0 0 3 6 】

なお、前記実施形態では、レバー支持ブラケット 3 1 を樹脂で一体成型した例を説明したが、これに限らないで、その他の材質で形成することも可能である。

さらに、レバー支持ブラケット 3 1 の形状は、一例を示したものであり、例示した形状に限定するものではない。

#### 【 0 0 3 7 】

##### 【発明の効果】

本発明は上記構成により次の効果を発揮する。

請求項 1 は、操作レバーを取り付けるレバー支持ブラケットに舌片差込み部を一体形成した。よって、レバー支持ブラケットに、操作レバーを取り付けることができるとともに、シートの前端の舌片部を差し込むことができる。

#### 【 0 0 3 8 】

このように、操作レバーを取り付ける部材と、舌片部を差し込む部材とをレバー支持ブラケットの一部材にまとめることで、レバー支持ブラケットの剛性を高めることができる。

したがって、レバー支持ブラケットで操作レバー及びシートの前部を確実に支えることができる。

#### 【 0 0 3 9 】

また、操作レバーを取り付ける部材と、舌片部を差し込む部材とをレバー支持ブラケットの一部材にまとめることで、部材のコンパクト化を図ることができる。よって、レバー支持ブラケットのレイアウトを比較的簡単に決めることができるので、設計の自由度を高めることができる。

#### 【 0 0 4 0 】

加えて、操作レバーを取り付ける部材と、舌片部を差し込む部材とをレバー支持ブラケットの一部材にまとめることで、部品点数を減らすことができ、コスト低減を図ることができる。

##### 【図面の簡単な説明】

#### 【図 1】



本発明に係るレバー支持ブラケット構造を備えた小型水上艇を示す側面図

【図 2】

本発明に係るレバー支持ブラケット構造を備えた小型水上艇を示す分解側面図

【図 3】

本発明に係る小型水上艇のレバー支持ブラケット構造を示す斜視図

【図 4】

本発明に係る小型水上艇のレバー支持ブラケット構造を示す側面図

【図 5】

本発明に係るレバー支持ブラケット構造の舌片差込み部と舌片部との関係を示す側面図

【符号の説明】

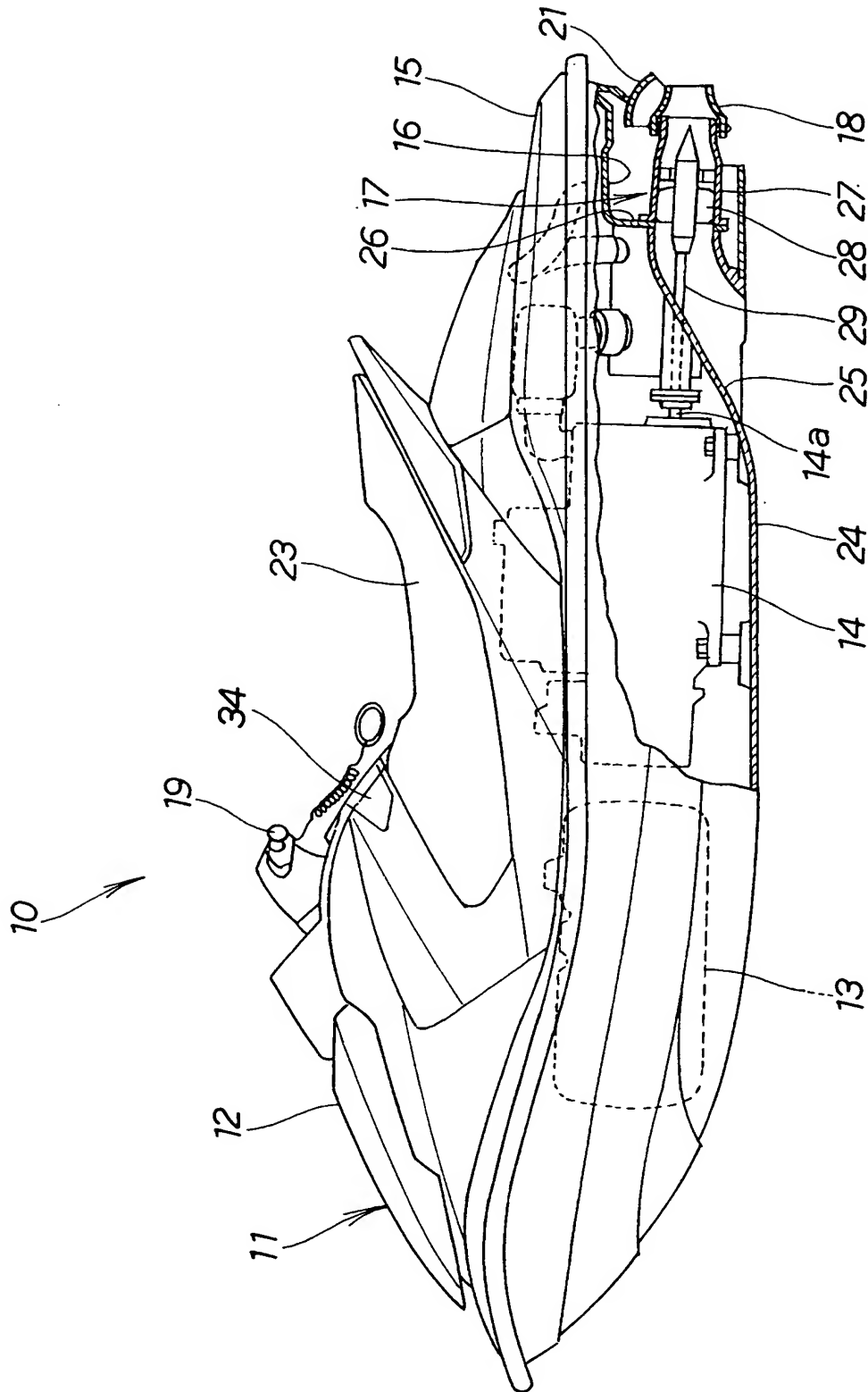
1 0…小型水上艇、1 1…艇体（デッキ）、1 4…エンジン、1 7…ウォータージェット推進機（ジェット推進機）、1 8…ステアリングノズル、2 1…リバースバケット、3 4…リバース操作リバー（操作レバー）、2 3…シート、3 0…小型水上艇のレバー支持ブラケット構造、3 1…レバー支持ブラケット、5 0…シートの前端、5 1…舌片部、5 5…舌片差込み部。



【書類名】

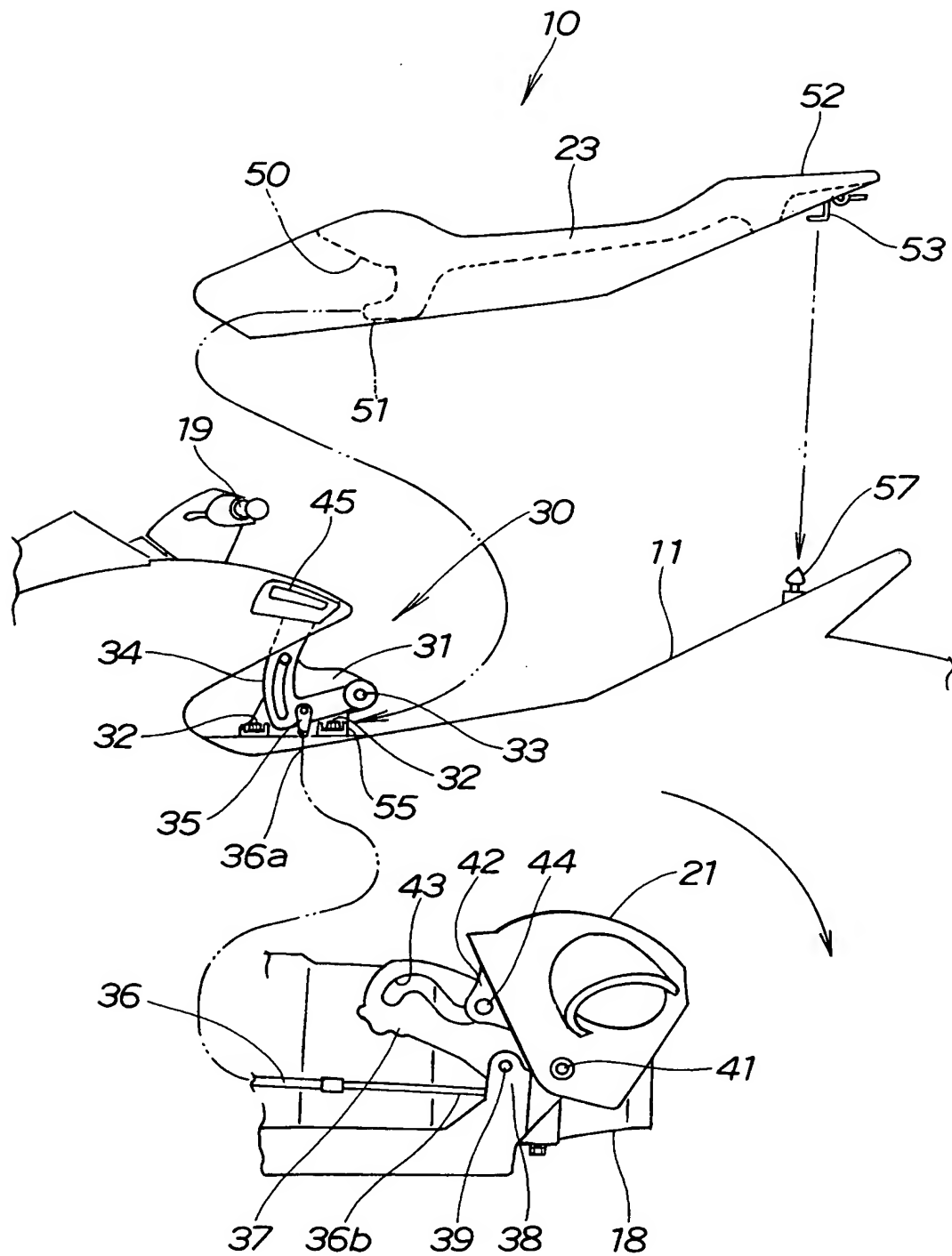
図面

【図 1】



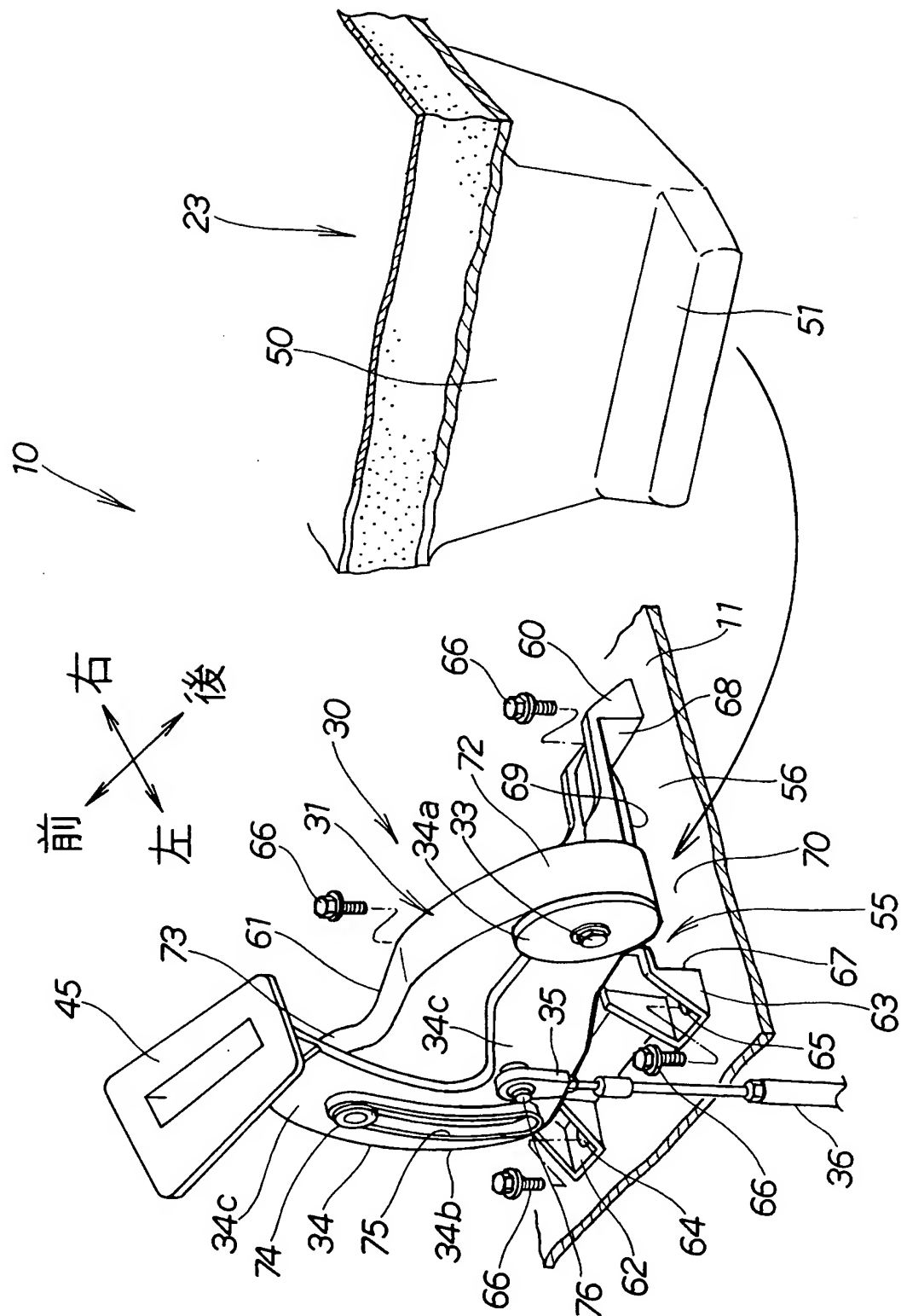


【図 2】



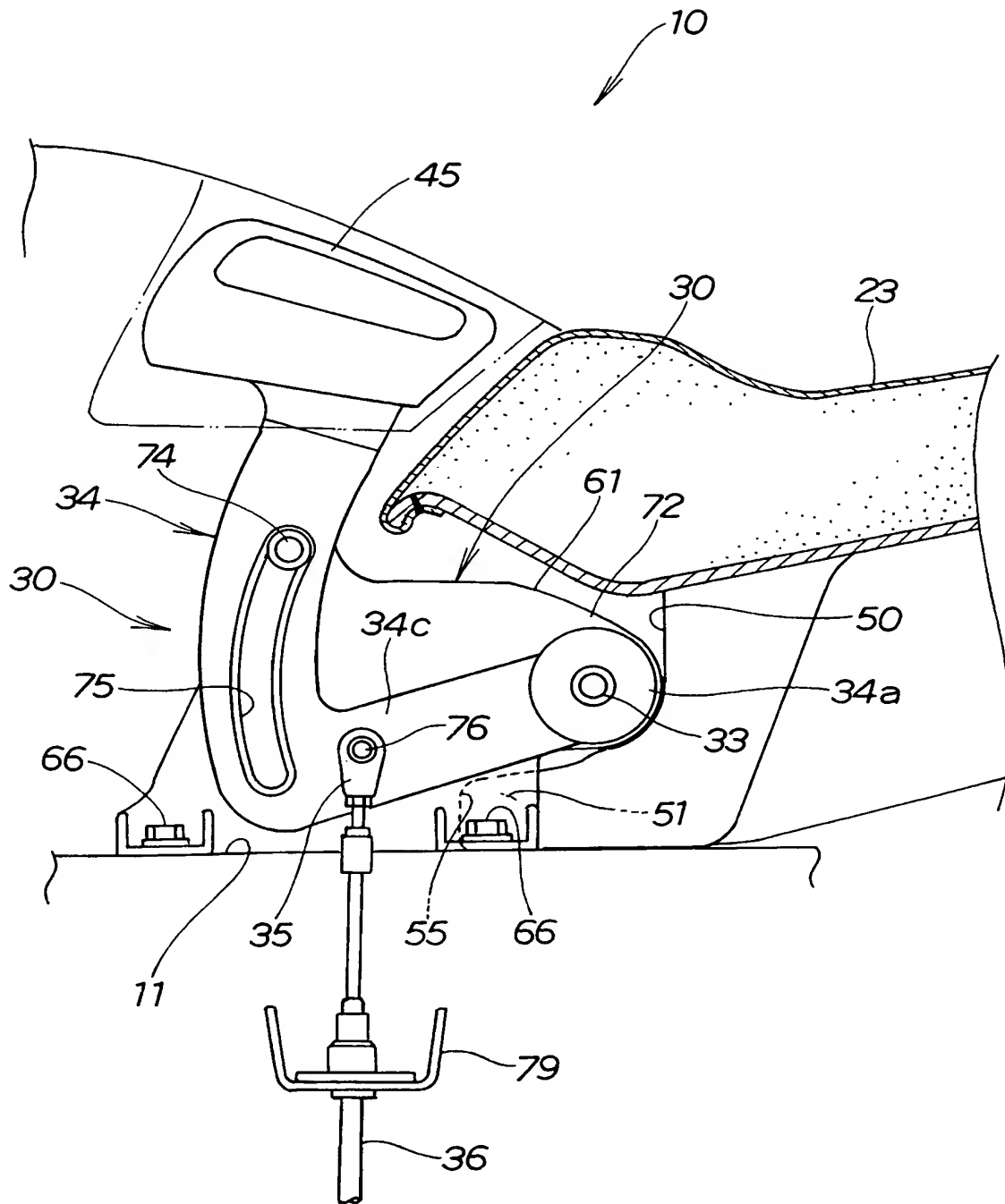


【図 3】



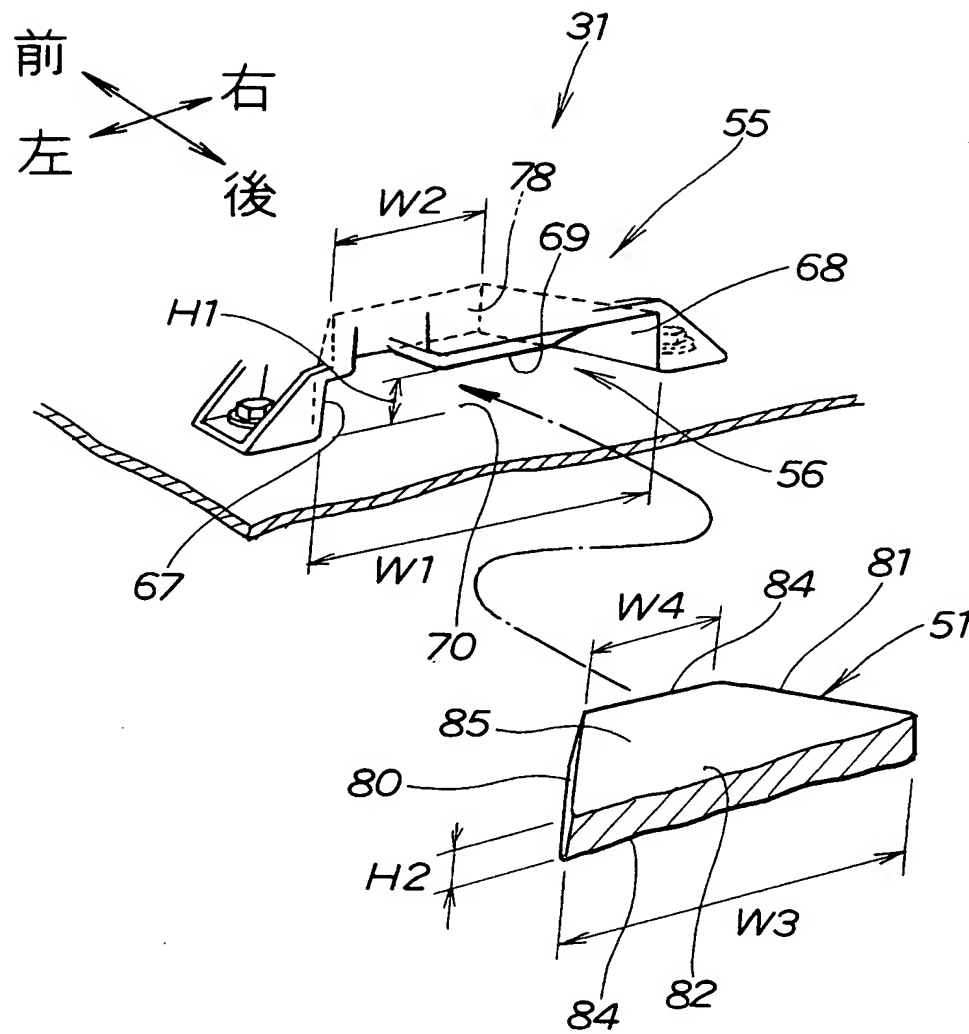


【図 4】





【図5】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 レバー支持ブラケット及び舌片差込み部の剛性を高めることができ、またレバー支持ブラケット及び舌片差込み部のレイアウトを比較的簡単に決めることができ、さらに部品点数を減らすことができる小型水上艇のレバー支持ブラケット構造を提供する。

【解決手段】 レバー支持ブラケット構造 3 0 は、リバースバケット 2 1 をリバース操作レバー 3 4 により操作できるようにし、リバース操作レバー 3 4 をシート 2 3 の前端付近に配置するとともに、レバー支持ブラケット 3 0 により艇体 1 1 に揺動可能に取り付け、レバー支持ブラケット 3 0 にシート 2 3 の前端 5 0 の舌片部 5 1 を差し込むことのできる舌片差込み部 5 5 を一体形成したものである。

【選択図】 図 3



特願 2002-264989

出願人履歴情報

識別番号

[000005326]

1. 変更年月日

1990年 9月 6日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都港区南青山二丁目1番1号

氏 名

本田技研工業株式会社